地球温暖化

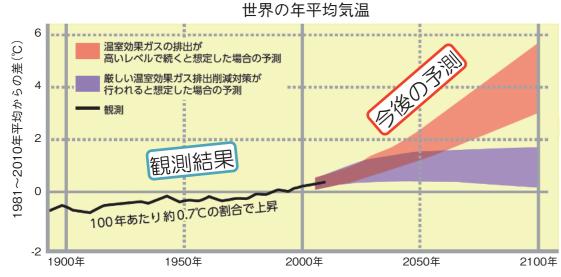
地球温暖化は確実に進んでおり、人間活動により温室効果ガス を排出し続けるとますます進行します。

地球温暖化の進行により異常気象が頻発し、かつてない気候が 現れやすくなります。

◆世界の気温の変化

✓ 地球温暖化は現実に起きている

地球温暖化の様々な証拠が、世界各地で捉えられています。 地球温暖化の進行を抑えるためには、温室効果ガスの排出を大幅に削減し、 これを保ち続ける必要があります。





200年にわたる世界の気温変化を示す。地球温暖化を抑えるこれまで以上の対策をとらず、温室効果ガスの排出が高いレベルで続く場合

◆異常気象の頻発

✓ かつてない気候が現れる

平均気温(夏)の変化の例 かつてない気候 異常な高温 異常でなくなる

地球温暖化の進行により、 異常気象の「起きやすさ」 や「強さ」が変化し、これ までにない気候が現れや すくなります。

い気候」が現れるようになる。

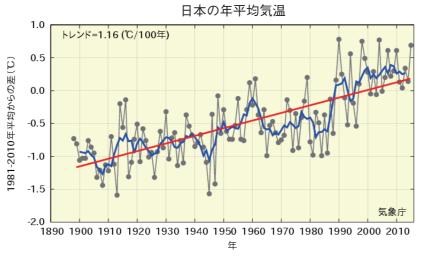
夏の猛暑を例に、地球温暖化による変化の様子を示す。猛暑と呼ばれるような「異常な高温」は

日本の気候変化

日本の気温は長期的に上昇しており、特に1990年代以降、 高温となる年が頻出しています。 日本近海の海面水温も上昇しています。

◆日本の気温の変化

✓世界平均より上昇が早い



日本の年平均気温は、100年あ たり1.16℃の割合で上昇して います。

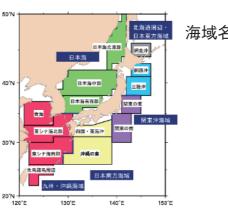
この上昇は地球温暖化が主な要 因であると考えられています。

細線(里):各年の平均気温の基準値からの偏差。 太線(青):偏差の5年移動平均、直線(赤):長期

中から、都市化による影響が少なく、特定の地域

▶日本海の海面水温

✓上昇傾向が現れている



日本近海の海面水温は、地球温暖化だけでなく、地域的 な自然変動の影響も受けていると考えられます。 「日本海中部」と「日本海南西部」の海面水温の上昇率 は、世界全体や北半球全体で平均した海面水温の上昇率 よりも大きくなっています。

日本海中部(左図)と日本海南西部(右図)の海面水温





図の青丸は各年の平年差を、青線は5年移動平均を、赤線は長期変化傾向を示す。平年値は1981~2010年の平均値 統計期間は、日本海中部は1907~2015年、日本海南西部は1901~2015年だが、船舶などからの観測データが少ない期間は除外している。

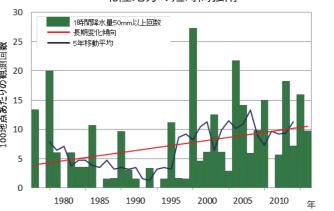
地球温暖化の影響

地球温暖化の悪影響は、生態系や社会活動など様々な分野に 現れています。

それを減らすには、進行を抑える「緩和」と影響に対処する 「適応」の両方が必要です。

◆短時間強雨の変化

北陸地方の短時間強雨



✓強い雨が増加する

非常に激しい雨(1時間 50mm以上)が増えてい

福井県では、このような 雨の発生頻度がさらに増 えていくと予想されてい ます。

量が50mm以上となった年間の回数

●雪の変化

福井市の年最深積雪 ■最深積雪 ——長期変化傾向 ——5年移動平均

✓ 積雪が減少している

福井市の最深積雪は減少傾向と なっています。 福井県の雪は、21世紀末にかけ て減少すると予想されています。

福井地方気象台で観測された



◆生態系への影響

4月17日 4月12日

✓ さくらの開花が早まっている

福井市では、さくらの 開花日が50年あたり約 5日早くなっています。

さくらの開花日の経年変化

